



No 9

金力一心

令和3年 7月 1日

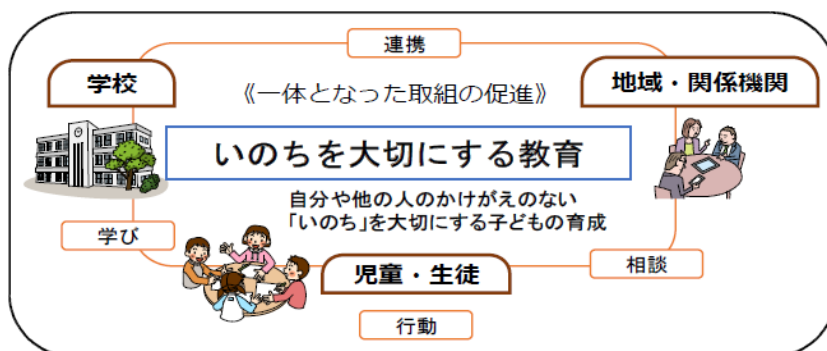
「夢を抱き、絆を大切にできる子どもを育もう～「よろこばせごっこ」で

都農町立都農小学校 TEL 0983-25-0049 FAX 0983-25-0273 文責；校長 三橋正洋

7月1～7日は宮崎県「いのちの教育週間」です

今回は、宮崎県教育委員会が推進している「いのちを大切にする教育」について紹介します。

県では、右の図のように、「いのち」にかかわる内容を、学校、家庭、地域及び関係機関が相互に連携しながら、子どもたちが自他のいのちがかけがえのないものであることを実感できる教育を進めていけるように



取り組んでいます。その中で、【めざす子どもたち】の姿を

- 生まれてきてよかったと思い、いのちにかかわるまわりの人・ものに感謝する
- 自分のいのちを大切にして、いのちいっぱい生きる
- いのちがつながっていることを実感する

としています。今週月曜日の全校集会では、私が「命の誕生」について下のような話をしました。この機会に、ご家庭でも命について話をしてみてください。

さて、今日は一番大切にしなければならないことの話をします。それは何でしょう。「命」です。まずは、みなさんが今生きているという喜びを感じてみましょう。自分の心臓の音を聞いてみてください。どうすればわかりますか？（子どもたちは手首や胸に手をあてていました）

では、聞いてみましょう。目を閉じて、今から15秒間感じてみましょう。

次に、前を見てください。これは、今、5年生になる先生の子どもの、まだお母さんのおなかにいるときの映像です。あと5か月位で生まれる時の様子です。おなかの中の赤ちゃんは、約2か月にはぶどう1粒で約1グラム、約3か月には、こぶし大ほどまで成長します。そして10か月後の赤ちゃんの身長は約50cm、体重は約3,000gで、すいか1個ほどの大きさと言われています。こうして赤ちゃんは誕生します。

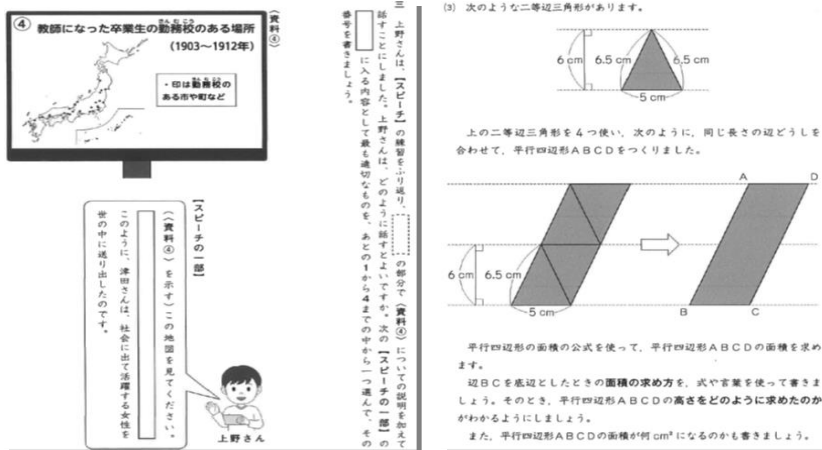
お母さんも赤ちゃんも、命がけで、新しい命は生まれてくるのです。そしてその何年後かの姿がみなさんです。命はたった1つしかありません。だからこそ、大切に大切にしていかなければいけないのです。自分の命は、自分で守るしかありません。そしてそれと同じくらいに、みなさんのまわりの命も大切にしていってください。そのための取組の1つが「よろこばせごっこ」です。まわりを笑顔にするあいさつや笑顔をもっともっと意識して、自分もそしてまわりの人も笑顔いっぱいにしていきましょう。

この話を思ったことを、後で日記でも何でも構いませんので書いてみてください。こうして、自分の気持ちをまとめることはとても大事なことです。じっくり振り返ってみましょう。そして命について、家の人と話してみるのもとてもよいことです。

いよいよ1学期のまとめの月、7月が始まります。楽しく、充実した日々を送りましょう。

参観日 & 家庭教育学級をしました

24日(木)は、今年度2回目の参観日でした。PTA役員の方が、感染症防止対策も含めた参観の心得を放送で流していただき、今回は授業参観のみで実施しました。先に行われた全国学力調査でもわかるように、これからの学力の要素として、読解力や表現力等がとても必要となります。そこで授業では、ディスカッションや子ども自ら黒板に書きながらの発表、自信なさげながらも意欲的に手を挙げる光景等、それらの能力を高めようとする姿が見られました。



左は、今年度6年生が受けた全国学力調査の問題の一部です。本校職員も先日、実際に解いてみました。詰め込みの知識ではなかなか正解までたどり着けません。文部科学省HPに、全問題と解答がアップされていますので、ぜひ解いてみてください。これから身に付けなくてはならない力が見えてきます。

その後、家庭教育学級開級式を体育館で実施しました。蒸し暑い中、子育てのスキルアップに向けて研修しました。町家庭教育応援団「さん・さん」の下、これからも手を取り合って頑張っていきましょう。下に、私がこの会で話した内容の一部を、スライド形式で紹介します。何かの参考になれば幸いです。(見つらくてすみません…)

